

## 6-4 モビリティ・マネジメントの対象地区の選定および実施

MMの対象地区の選定および実施を検討するに当たり、必要に応じて以下のような分析を行うことが考えられる。

(1)代表交通手段分担率と公共交通のサービスレベルの把握

### (1) 代表交通手段分担率と公共交通のサービスレベルの把握

#### ①分析の視点

地域別の代表交通手段別分担率と公共交通のサービスレベルよりも、公共交通のサービスレベルが高いにも係わらず、自動車の利用が多い地域を把握する。これらの地域は、公共交通のサービスレベルが高いことからMMの効果が高いと想定される。

#### ②方法

分析対象地域別に代表交通手段別発生・集中量を集計し、手段別分担率を算出する。合わせて、分析対象地域別の公共交通のサービスレベルを把握する。

#### ③分析に必要なデータ

- ・ 都市圏PT調査もしくは特定目的PT調査（特定地域限定型、全域小サンプル型）
- ・ 鉄道、路線バスの路線網図
- ・ 鉄道、路線バスの路線別運行本数

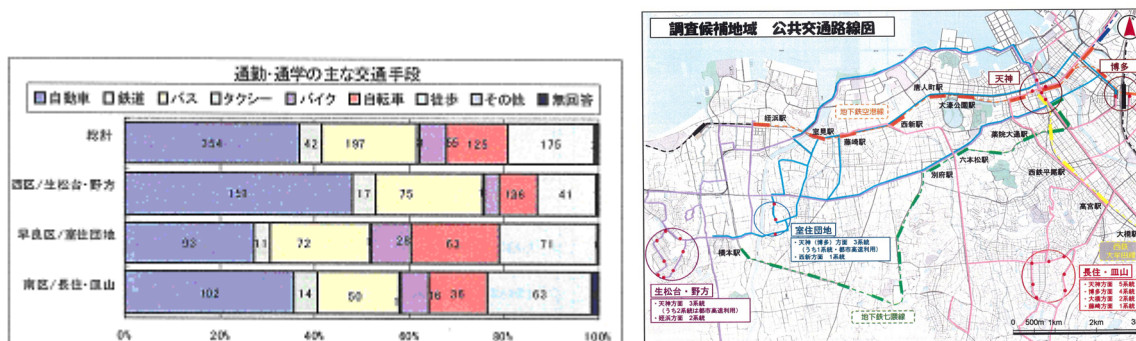


図 6-13 代表交通手段別分担率と公共交通のサービスレベル(イメージ図)